

ツアー参加にあたっての注意事項

■重要事項

- お申し込みの際に、ご参加者さま全員の「氏名」(漢字、読み方)、「生年月日」、「住所」をご入力いただきます。また、その情報を制限エリア内へ入場する為の入場申請に使用いたしますので予めご了承ください。情報を提供いただけない場合はご参加いただけません。また入場申請の関係上、お申し込み後の参加者変更は承っておりません。恐れ入りますが、一度ツアーを取消後、新たにお申し込みをお願いいたします。
- 当日は顔写真付き本人確認書類(運転免許証・運転経歴証明書・健康保険証・パスポート・マイナンバーカードのいずれかの原本(コピー不可)を必ずお持ちいただき、受付にてご提示ください。未成年者は顔写真付きでないものも可といたします。本人確認書類を忘れた場合やご提示頂けない場合、記載内容がご予約時にお知らせ頂いた情報と異なる場合はご参加頂けません。また、その場合のツアー料金の返金はいたしません。
- バスの座席は当社にて決定いたします。事前に座席のご希望を承ることはできません。奇数名でご参加のお客さまは原則として相席になりますので、予めご了承ください。
- 反社会的勢力及び航空機の運航阻害行為を行おうとする方は参加できません。
- 3歳以下、またはおひとりで着席できないお子さまはご参加いただけません。
- 未成年者のみでのお申し込みはご遠慮いただいております。大人1人につき未成年者1人までお申込みいただけます。
- 車いすの方はお客さまご自身にてバス乗降が可能なお客さまのみご参加可能です。車いすのご用意はありませんので、お客さまご自身でご用意ください。また、車いすのお手伝いが必要なお客さまは、ご同行の方と一緒にご参加いただく必要があります。
- その他お手伝いが必要なお客さまについても、ご同行の方と一緒に参加いただく必要があります。
- 安全上の観点より、ストレッチャーに横になったままでのご参加はできません。
- 参加人数が最少催行人数に満たないときは、ツアーが中止になる場合もございます。中止の場合のみ、出発10日前迄に弊社より、ご連絡いたします。
- 天候・整備状況・運航状況・訓練等、または感染状況や政府の指針等により、プログラムや見学箇所が一部変更となったり、中止になる可能性がございます。予めご了承ください。
- 酒気を帯びた状態での参加はお断りいたします。
- 広報・社内資料としてツアーの様子を撮影させていただくことがございます。
- 空港駐車場は混雑いたします。公共交通機関のご利用をお願いいたします。

■那覇空港制限区域内における注意事項

- お客さまの安全のため、ヒールの高い靴やサンダル、厚底の靴は避けてください。また途中ヘルメットを着用いたしますので予めご了承ください。
- 手荷物の飛散・落下防止のため、ツアー中にお持ち込みいただけるお手荷物はリュック・ハンドバックなど座席下に収納できる身の回りのもの1点とさせていただきます。
(大型のお手荷物は空港内のコインロッカーなどにお預けください。)
- 次に掲げるものは車内にお持ち込み頂けません。
 - 凶器類(ナイフ・ハサミ類、先のとがったもの、バット類、工具類)
 - スプレー缶類(カセットコンロ用ガス、キャンプ用ガス、スポーツ用酸素缶、殺虫剤・農薬)
 - ライター・マッチなど、火薬を使用したもの(花火・クラッカー)
 - その他(酒類、漂白剤、ペイント類、加熱式弁当、瞬間冷却剤、空間除菌剤、その他係員が保安上持ち込めないと判断したもの)
- 手荷物検査及び爆発物検査を実施いたします。
- 走行中、立ち上がったたり、手を伸ばしたり、顔や撮影機材をバス車外へ出すことはご遠慮ください。
- 帽子を着用される場合は、飛ばされないよう、顎紐の付いたものをご着用ください。(飛散の可能性がある場合はお手荷物とあわせてご収納いただきます。)
- 禁止事項を遵守しない場合には航空法等に基づき罰せられることがあります。

■那覇空港制限区域内の撮影に関する注意事項

- 本体とレンズ(伸長時も含む)を合わせた最大長が30cmを超える撮影機材、および一脚/三脚/GoProなどのアクションカメラ/自撮り棒などの撮影補助機材の持ち込み及び使用はできません。
- 撮影が許可された場所以外での撮影は禁止です。
- フラッシュ撮影、動画撮影および音声録音は、すべての場所で禁止です。
- 建物側(旅客及び貨物ターミナルビルや格納庫など)、制限区域内へ入場する全てのゲート及び警備状況が見える箇所(検査風景や検査機器)、駐機している航空機の警備状況、同行スタッフや空港内作業スタッフの身分証明書の撮影は禁止です。
- 自衛隊施設・自衛隊航空機・海上保安庁施設・海上保安庁機の撮影は禁止です。
- その他係員の判断により、撮影をご遠慮いただく場合がございます。同行する係員の指示に従ってください。
- 個人使用が目的の飛行機の写真撮影は可能です。営利目的でのご利用およびホームページやブログへの掲載、SNSへの投稿は禁止です。その他にも、他人の権利、マナー等にもご配慮ください。